

## 文部科学省が高大接続改革の検討・準備グループなどを設置

文部科学省は、3月に公表された高大接続システム改革会議「最終報告」を踏まえ、高大接続改革の着実な実現に向けて、検討・準備グループ等を設置することにした。下記の「当面の検討課題」について、具体的な検討を進めるとともに、改革全体の推進状況の把握・フォローアップ等を行っていく。

この当面の検討課題の中には、大学入学希望者学力評価テスト、いわゆる「新テスト」についても含まれ、その実施方針を平成29年度初頭に策定し公表する方針を示している。ここでの検討に注目が集まる。

### 【当面の検討課題】

★「高等学校基礎学力テスト（仮称）」の「実施方針」（平成29年度初頭に策定・公表予定）。

★「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」の「実施方針」（平成29年度初頭に策定・公表予定）。

★個別大学の入学者選抜の改善に向けた入学者選抜の実施に係る新たなルールの策定や調査書等の改善。

★テストの実施主体。

### 【高等学校基礎学力テスト（仮称）の課題】

★平成29年度初頭に「実施方針」を策定・公表すべく、以下について検討。

・基礎学力の定着度合いを把握し結果提供するための方法、テスト実施方針の策定、CBT等によるテスト実施システムの在り方等。

### 【大学入学希望者学力評価テスト（仮称）の課題】

★平成29年度初頭に「実施方針」を策定・公表すべく、以下について検討。

・対象教科・科目の出題内容と範囲、記述式・英語の実施方法と実施時期、成績表示、プレテストの実施内容、正式実施までのスケジュール、名称等。

### 【大学入学者選抜方法の改善に関する協議】

★大学入学者選抜実施要項の見直しの予告（平成29年度初頭を目途に通知予定）に向け、以下について検討。

・入学者選抜の実施に係る新たなルールの検討、調査書・提出書類の在り方の検討等。

### 【新テスト実施主体に関する省内検討体制】

★新テストの実施主体について検討。

## いわき明星大学が看護の新学部を開設予定

いわき明星大学（福島県いわき市）は2017年4月、看護師を養成する新学部「看護学部」（仮称・設置認可申請中）を開設する予定だ。4年制大学の看護師養成機関として、専門的判断力や課題発見・解決力、チーム医療の現場で他職種スタッフと連携できる高いコミュニケーション力を備えた、地域の医療状況に対応できる実践力のある看護師・保健師を育成する。

学科は「看護学科」のみ。入学定員は80人を計画。独自のカリキュラムや経験の多い教員陣で、国家試験合格率100%を目指した教育体制を整える。特色は、放射線関連の授業も行う災害看護学の導入や、最新機材を使い現場に即した状態で看護師に必要な技術を学んでいくシミュレーション教育の実践、さらに同大学内の教養学部や薬学部との連携など。実習先の病院、保健所、介護施設、地域包括支援センターは十分に確保しているとのこと。

## 愛知淑徳大学が2017年度に管理栄養士を育てる新学部

愛知淑徳大学（愛知県長久手市）は、2017年度に管理栄養士を育てる新学部設置を構想している。名称は「健康栄養学科」とする計画で、入学定員は80人を予定している。既設の健康医療科学部に設置する構想だ。

新学部では、「栄養」と「食」に関する深い専門知識と技能を身に付け、医療の現場や高齢者施設、障がい者施設で活躍できる人材を育成する。また、国家試験の対策にも力を入れる方針で、特別講義や模擬試験など、試験直前まで計画的かつ実践的な対策を実施し、学生一人ひとりに手厚いサポートをしていく考え。

教育面では、他学科・専攻と連携。健常者に留まらず「チーム医療」を視野に傷病者、高齢者、要介護者および障がい者への栄養ケアも実践できる管理栄養士の養成を目指す。管理栄養士や医師、歯科医師、言語聴覚士、視能訓練士などの専任教員が担当する演習科目を配し、チーム医療の一員として活躍できる能力を育む。キャンパス内にある愛知淑徳大学クリニックと連携した体験学習を取り入れ、実践的に学習できる環境も整えていく。

## 津田塾大学が新学部「総合政策学部」（仮称）を開設へ

津田塾大学（東京都小平市）は、「総合政策学部（仮称）」の設置認可を文部科学省に申請しており、認可されれば千駄ヶ谷キャンパス（東京都渋谷区）で2017年4月に開設する。入学定員は110人を予定。津田塾大学が複数の学部を持つのは、1948年に新制大学となって以来、初めてとなる。

新学部には1学科「総合政策学科」を置き、4つのコース「パブリック・ポリシー（公共政策）」「エコノミック・マネジメント（経済経営）」「ソーシャル・アーキテクチャ（社会情報）」「ヒューマン・ディベロップメント（人間社会）」を用意する。

カリキュラムの特徴は、英語、ソーシャル・サイエンス、データ・サイエンスの三つの分野における基礎科目を必修科目として設置し、中でもデータ・サイエンスの学びを徹底する。また、セミナーを必修科目として各年次に配置するほか、実践的な英語力を修得する授業を展開。すべての教育課程において課題解決型学習の手法を活用。学年暦は、集中学習と積み上げ教育に有利で、留学もしやすいクォーター制を導入する計画。

## 京都ノートルダム女子大学が学部を改編し新たに「現代人間学部」

京都ノートルダム女子大学（京都市）は新学部「現代人間学部」の開設を構想中だ。2017年4月の設置を目指す。現在の「生活福祉文化学部」と「心理学部」の学びを発展させる形で誕生させる。二つの学部が一つになり、三つの学科が密接に関係し合うことで、これまで以上に生活、福祉、教育、心理を総合的に学べる環境を整える。

新学部には、3学科「福祉生活デザイン学科」「心理学科」「子ども教育学科」を置く計画だ。また、それぞれの学科にコースも用意。福祉生活デザイン学科では、3コース「生活デザインコース」「社会福祉コース」「福祉生活総合コース」。「心理学科」では、2コース「心理カウンセリングコース」「社会・ビジネス心理コース」。「子ども教育学科」では、3コース「幼稚園教員・保育士コース」「幼稚園・小学校教員コース」「小学校特別支援学校教員コース」を設置する構想だ。

## 東京農業大学が2017年度に5つの新学科の設置を予定

東京農業大学（東京都世田谷区）は、2017年度に新学部「生命科学部」を立ち上げ3つの学科を置くほか、既設の2学部にもそれぞれ新学科を1つずつ開設し、計5学科の新設を目指している。

### 【東京農業大学の設置構想中5学科】

#### ■生命科学部（新設・仮称）

〈バイオサイエンス学科（仮称）〉

最先端のバイオ技術を駆使して、遺伝子の働きを解き明かし、遺伝子の力を最大限に引き出して、人類が抱えている食料、健康、環境の諸問題の解決を目指す。

〈分子生命化学科（仮称）〉

生物圏のあらゆる生命現象には、原子・分子が関わっている。この原子・分子の働きを化学的な視点で解き明かしていくことで、これからの農学の可能性をより広げていく。

〈分子微生物学科（仮称）〉

微生物は地球上の最もシンプルな生命体で、あらゆる環境に生息するが、これまでに見つかっている微生物種はほんの数%に過ぎない。植物や動物、そして広大な地球環境を研究対象として、未解明であったミクロの世界を先端科学の力で追求することで、未来の農学分野への貢献を目指す。

#### ■地域環境科学部

〈地域創成科学科（仮称）〉

里山などの地域の伝統的な文化や知恵と最新の技術を融合させ、持続可能な土地利用の構築、地域づくりの実現に貢献。地域が抱える問題を総合的に捉え、生物多様性や生態系に配慮した土地利用、地域防災に関連する保全・管理技術、環境教育、政策立案、地域マネジメントといった実学型教育を通じて、地域づくりの担い手やリーダーになり得る人材の育成を目指す。

#### ■国際食料情報科学部

〈国際食農科学科（仮称）〉

日本の食と農に関する文化、それらを支える栽培や加工技術は、世界的に注目を集めている。農学の柱となる生産科学系、食品科学系、食農文化系、食農政策系、食農教育系などの多様性のある教育システムで、総合的に食と農の伝統と新たな発展の可能性を理解して、国際的な視野で活躍できる人材の育成を目指す。